

1. 教科等の名称 『自立活動（ADL）』学習指導略案

- 1) 日時：○月○日(○)3、4 時限
- 2) 中学部 2年 1名
- 3) 授業者 教員 1名

2. 単元（題材）名 調理（焼きもの）

3. 本単元の目標（ねらい）
焼きものの基本的な知識・技術を習得し、簡単な焼きもの調理をすることができる。

4. 本時の目標（ねらい） フライ返しの使い方を習得する。

5. 生徒の実態と本時の目標（ねらい）

	実態	本時の目標（ねらい）
A	視力は両眼0、点字使用。学年相応の学習を行っている。	フライ返しの使い方を理解し、目的に応じてフライ返しを使うことができる。

6. 展開（指導の流れ）

時間	学習活動(学習内容)	指導上の留意点／配慮事項	教材・教具
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・本時の活動内容を知る。 ①生地を作る ②生地をフライパンに流して焼く <u>③ひっくり返す</u> ④皿に移す 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホットケーキ作りの簡単な説明をする。 ・フライ返しを使ってひっくり返す作業があることを説明する。 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・フライ返しの形状と使い方を確認する。 ・焼きもの練習用模型(以下模型)を使って、ひっくり返す練習をする。 ①フライパンに模型をボタンが上になるようにして置く。 ②フライ返しをできるだけ寝かせ、横に細かく揺すりながら模型を載せる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フライ返しの形状を触らせながら説明する。フライ返しの使い方をいくつか紹介し、用途に応じた持ち方を説明してできるようにする。 ・安定して模型をフライ返しに載せたかを確認させる。 	フライパン、フライ返し、焼きもの練習用模型、皿

	<p>③フライ返しをやや高めに持ち上げ、模型をフライパンの中へひっくり返す。うまくひっくり返るとボタンがフライパンにあたり、パチッと音がする。</p> <p>・模型を皿に移す練習をする。</p>	<p>・繰り返して練習し、スムーズにできるようにする。</p> <p>・うまくひっくり返らなかった際には、どのような状況になっているかフライパンの中を手で確認させる。</p> <p>・皿を持っている親指が内側に入りすぎていると、指にあたり、焼きたてのホットケーキの場合には熱くて危ないので、皿の持ち方も注意する。(親指は皿の淵に添える)</p>	
<p>実際の調理場面で起こりえる問題を想定し、模型を使って危険がない状態で確認や練習をしておくように配慮する。</p>		<p>・実際にホットケーキを作る。 …以下省略</p> <p>・練習で使っていたフライパン、フライ返し、皿は洗うか新しいものに換えて準備する。</p>	
<p>まとめ</p>	<p>・本時の活動を振り返る。</p> <p>・あいさつ</p>	<p>・フライ返しの使い方、注意点などを確認する。</p> <p>・フライ返しを用いる他のメニューについて紹介する。</p>	

7. 評価（評価基準）

1) フライ返しの使い方を理解し、ホットケーキ作りの中で適切に使うことができたか。